平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名　日本シイエムケイ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6958　URL　http://www.cmk-corp.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 兼本　国昭
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 黒沢　明　TEL 03-5323-0238
四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	34,658	△10.4	△830	—	△1,072	—	△1,107	—
25年3月期第2四半期	38,675	1.7	761	—	280	—	118	—

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　2,022百万円　(—%)　25年3月期第2四半期　△13百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△18.84	—
25年3月期第2四半期	2.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	97,424	59,349	57.3
25年3月期	95,434	57,773	57.1

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　55,868百万円　25年3月期　54,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　有
平成26年3月期の期末配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	4.6	2,200	406.9	1,500	164.5	1,000	40.3	17.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	63,060,164 株	25年3月期	63,060,164 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,315,624 株	25年3月期	4,315,353 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	58,744,760 株	25年3月期2Q	58,745,136 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国の経済は緩やかな回復傾向を示し、欧州債務危機問題も鎮静化の兆しが見えましたが、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化など、依然不透明な状況が継続しました。

国内経済は、日銀及び政府による金融緩和、財政政策により、円安、株高が進展し個人消費の回復や輸出環境の改善、産業界の景況感の回復などがみられましたが、実体経済への影響は依然限定的でした。

このような経済環境のなか、当社グループの市場別販売状況につきましては、自動車関連機器の売上は堅調に推移しましたが、通信分野においては、国内携帯メーカー向けビルドアップ基板の減少が続き、またアミューズメント、デジタルカメラ、試作品などの売上は減少しました。このような状況により、当第２四半期連結累計期間における売上高は346億58百万円と、前年同四半期比40億16百万円（10.4％）の減少となりました。

利益面につきましては、国内事業構造の見直し、生産性の改善、原価低減等、収益構造の改革を推進しましたが、売上高減少の影響が大きく、営業損益は8億30百万円の損失（前年同四半期は7億61百万円の営業利益）、経常損益は10億72百万円の損失（前年同四半期は2億80百万円の経常利益）、四半期純損益は11億7百万円の損失（前年同四半期は1億18百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

（日本）

販売面では、自動車関連機器、通信、デジタルカメラおよび試作品などの分野で受注が減少し、売上高は220億円（前年同四半期比18.5％減）となりました。利益面では、国内事業構造の見直しによる収益改善効果はみられたものの、売上高減少が大きく影響した結果、営業利益は3億32百万円（前年同四半期比66.2％減）となりました。

（中国）

販売面では、自動車関連機器の受注は堅調に推移しましたが、アミューズメント向け受注が減少した結果、売上高は63億64百万円（前年同四半期比4.0％減）となりました。利益面では、売上高減少の影響に加え、人件費等現地コストの増加、人民元上昇の影響により、営業損益は2億4百万円の損失（前年同四半期は1億33百万円の営業利益）となりました。

（東南アジア）

販売面では、自動車関連機器の受注が伸長し、売上高は43億1百万円（前年同四半期比23.3％増）となりましたが、利益面では、ビルドアップ基板の受注減少によるプロダクトミックスの変動により、営業損益は7億69百万円の損失（前年同四半期は84百万円の営業損失）となりました。

（欧米）

自動車関連機器の受注が増加した結果、売上高は19億92百万円（前年同四半期比26.8％増）、営業利益は77百万円（前年同四半期比10.6％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.7％増加し、503億円となりました。これは、主に仕掛品が3億78百万円、現金及び預金が2億75百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5％増加し、470億88百万円となりました。これは主に有形固定資産が9億87百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1％増加し、974億24百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.1％増加し、304億76百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億93百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.3％増加し、75億98百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.1％増加し、380億74百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7％増加し、593億49百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて2億75百万円増加し、211億63百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は9億28百万円（前年同四半期は55億95百万円の増加）となりました。これは、主に減価償却費22億72百万円の計上、売上債権の減少8億84百万円などによる資金の増加、税金等調整前四半期純損失9億13百万円の計上、仕入債務の減少5億72百万円などによる資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は11億72百万円（前年同四半期は17億3百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出14億11百万円による資金の減少などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は5億64百万円（前年同四半期は21億32百万円の減少）となりました。これは主に借入金の返済による支出91億65百万円による資金の減少、短期借入れによる収入84億36百万円による資金の増加などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、上期の業績悪化を踏まえ、今後の事業環境を慎重に見極める必要があるため、現時点におきましては、平成25年５月10日に公表しました業績予想を変更しておりません。

また、剰余金の配当につきましては、上期の業績が悪化しましたことから、誠に遺憾ながら、平成25年９月30日を基準日とする、中間配当の実施は見送らせていただきます。

平成26年３月期の期末配当金につきましては、現時点で未定とさせていただき、決定次第改めてお知らせいたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,906	21,181
受取手形及び売掛金	19,810	19,794
有価証券	44	46
商品及び製品	3,010	3,021
仕掛品	2,421	2,800
原材料及び貯蔵品	1,301	1,442
その他	1,993	2,055
貸倒引当金	△43	△42
流動資産合計	49,444	50,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,593	15,552
機械装置及び運搬具（純額）	12,097	13,146
土地	10,262	10,301
建設仮勘定	439	321
その他（純額）	775	837
有形固定資産合計	39,170	40,157
無形固定資産		
のれん	327	327
その他	259	255
無形固定資産合計	587	582
投資その他の資産		
投資有価証券	2,873	3,064
その他	3,374	3,342
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	6,189	6,347
固定資産合計	45,946	47,088
繰延資産		
社債発行費	42	35
繰延資産合計	42	35
資産合計	95,434	97,424

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,611	8,805
短期借入金	15,084	14,982
未払法人税等	170	303
賞与引当金	210	209
受注損失引当金	97	22
事業構造再編費用引当金	308	305
その他	5,672	5,848
流動負債合計	30,156	30,476
固定負債		
社債	4,500	4,500
退職給付引当金	248	247
役員退職慰労引当金	6	7
その他	2,748	2,843
固定負債合計	7,504	7,598
負債合計	37,660	38,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	22,063	22,063
利益剰余金	15,123	13,869
自己株式	△3,502	△3,502
株主資本合計	55,991	54,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	441
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,747	690
その他の包括利益累計額合計	△1,523	1,131
少数株主持分	3,306	3,481
純資産合計	57,773	59,349
負債純資産合計	95,434	97,424

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	38,675	34,658
売上原価	34,155	31,736
売上総利益	4,520	2,922
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,253	1,284
役員退職慰労引当金繰入額	5	0
賞与引当金繰入額	91	50
退職給付引当金繰入額	29	23
役員賞与引当金繰入額	0	－
その他	2,378	2,393
販売費及び一般管理費合計	3,759	3,753
営業利益又は営業損失（△）	761	△830
営業外収益		
受取利息	27	51
受取配当金	36	32
役員退職慰労引当金戻入額	3	－
その他	352	316
営業外収益合計	419	400
営業外費用		
支払利息	333	303
為替差損	404	138
その他	162	199
営業外費用合計	900	641
経常利益又は経常損失（△）	280	△1,072
特別利益		
固定資産売却益	43	61
投資有価証券売却益	－	121
事業構造再編費用引当金戻入額	361	－
その他	103	2
特別利益合計	508	186
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	22	12
投資有価証券評価損	412	－
損害賠償金	66	14
その他	2	－
特別損失合計	505	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	282	△913
法人税等	143	176
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	138	△1,090
少数株主利益	20	16
四半期純利益又は四半期純損失（△）	118	△1,107

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	138	△1,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	216
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	102	2,895
その他の包括利益合計	△152	3,112
四半期包括利益	△13	2,022
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	1,548
少数株主に係る四半期包括利益	51	473

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	282	△913
減価償却費	2,004	2,272
受取利息及び受取配当金	△63	△84
支払利息	333	303
為替差損益（△は益）	437	131
固定資産売却損益（△は益）	△43	△61
固定資産除却損	14	10
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△121
投資有価証券評価損益（△は益）	412	－
事業構造再編費用引当金戻入額	△361	－
売上債権の増減額（△は増加）	4,255	884
たな卸資産の増減額（△は増加）	81	△157
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,031	△572
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	△1
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△57	0
その他	△165	△554
小計	6,105	1,137
利息及び配当金の受取額	68	85
利息の支払額	△328	△311
法人税等の支払額	△250	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,595	928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,214	△1,411
有形固定資産の売却による収入	124	140
無形固定資産の取得による支出	△25	△5
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	－	290
貸付けによる支出	△240	△288
貸付金の回収による収入	0	288
その他	△344	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,703	△1,172

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	229	8,436
短期借入金の返済による支出	△150	△7,629
長期借入金の返済による支出	△1,869	△1,535
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△169	△203
債権売却の増減額（△は減少）	△24	516
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	－	0
配当金の支払額	△145	△146
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,132	△564
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	1,057
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,775	248
現金及び現金同等物の期首残高	19,278	20,888
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	26
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,054	21,163

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,981	6,632	3,489	1,572	38,675	—	38,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	780	3,595	2,276	—	6,652	△6,652	—
計	27,762	10,227	5,766	1,572	45,328	△6,652	38,675
セグメント利益又は損失(△)	982	133	△84	70	1,101	△340	761

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△340百万円には、セグメント間取引消去146百万円、全社費用△487百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,000	6,364	4,301	1,992	34,658	—	34,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,159	3,062	1,652	—	5,874	△5,874	—
計	23,159	9,427	5,954	1,992	40,533	△5,874	34,658
セグメント利益又は損失(△)	332	△204	△769	77	△564	△266	△830

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△266百万円には、セグメント間取引消去192百万円、全社費用△458百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。